

令和 5 年度 北九州市立 中井小 学校 スクールプラン

学校教育目標	「心身ともに健康な子どもの育成」～思いやりの心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成～（なかよく、かしこく、いきいきと）
--------	--

子どもの学びに関すること

重点目標	多様な考えのよさを感じ、他者とともに学び合う子どもの育成	重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが必要感をもって考えることができるように、学ぶ目的を明確にもつことができる単元設定を行う。必要に応じて、SDGsの視点も取り入れる。 ○中井スタンダードの授業づくり「導入→めあての設定→自分で考える（個別最適化）→みんなで考える（学び合い）→自分の考えの再構築→振り返り」を行う。 ○授業では、指導と評価の一体化を図り、支援が必要な子どもへの手だてを確実にを行う。 ○ICTを活用した授業改善を図る。考えをつくる場面や学び合いの場面で子どもたちが主体的にGIGA端末を活用できるようにしていく。 ○いつでも本や新聞等を手に取れるように環境を整え、読書活動の充実を図る。
指標	<p><学校アンケート></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「自分の思いや考えを書いたり、みんなへ話したりすることができる」について肯定的な回答をした子どもの割合【80%以上】 ◆「ICTを活用して個別最適な学びや協働的な学びの実現を図った」について肯定的な回答をした教員の割合【100%】 		

子どもの心の育ちに関すること

重点目標	他者との関わりを通して、自己を理解し、自他ともに大切にできる子どもの育成	重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○自分とは異なる考えや特性を認め、違うことの価値を実感できるよう、全教育活動を通して取り組む。 ○子どもたちの発案を大切に学級活動や縦割り活動、クラブ・委員会活動等を積極的に行い、学級や学年、学校の一員としての仲間意識や自己有用感を高める。 ○進んで挨拶、温かい言葉かけ、他者への気遣いができるよう、全職員が率先して範を示す。 ○子どものよさを認めること、人権感覚を研ぎ澄まして指導に当たることに全職員が努める。年3回アンケートを実施し、面談を確実にを行い、いじめゼロを目指す。 ○特別支援教育について啓発や研修を行い、目に見えない違いを認め合えるように意識改革を行う。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆「先生や友達はあなたのよいところを認めてくれていると思う」について、肯定的な回答をした子どもの割合【85%以上】 ◆「自分から進んであいさつができる」について、肯定的な回答をした子どもの割合【90%以上】 ◆「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について肯定的な回答をした子どもの割合【100%】 		

子どもの体力に関すること

重点目標	主体的に運動に取り組む子どもの育成	重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストや、それに準ずる学校独自の体力測定の取組の結果をもとに、体育部を中心に分析し、課題を明確にする。その課題を克服するための取組を設定し、体力向上に取り組む。 ○子どもが取組の成果を感じ、運動する意欲を高められることができるように、定期的に発表の場を設け、よさを見つけたり、アドバイスをし合ったりする。 ○準備運動を工夫したり、子どもが進んで体力向上に取り組めるような活動を取り入れたりすることで、子どもが主体的に体力向上に取り組めるようにする。
指標	◆「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」について、肯定的な回答をした児童の割合【90%以上】		

長欠・不登校対策 に関すること

重点目標	学校が好きで子どもの育成	重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえ、全職員で一人一人の子どもに寄り添っていく。 ・わかる授業づくりや、集団づくりを通じた未然防止の取組を行う。 ・特別支援教育の視点を重視し、学習面、生活面での個別最適化、合理的配慮を行う。 ・連続2日（不登校・無断）欠席した場合は、家庭訪問を行い、子どもや保護者との信頼関係づくりに努める。 ○児童の心の状態を把握し指導に生かすために年3回「心のアンケート」と「全員面談」を実施し、一人一人の状況に応じた支援を行う。
指標	<p><学校生活アンケート></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「学校に行くのが楽しい」についての肯定的な回答をした児童の割合【90%以上】 		

働きやすい職場づくり に関すること

重点目標	働きがいがあり、働きやすい職場づくり	重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○専科指導と、主として高学年の持合い授業を実施し、教員の授業時間の平準化と教材研究の時間の効率化を図る。また、専科教員を含めた学年集団で学年全体の子どもの指導に当たるようにしていく。学年を単位として柔軟かつ合理的に業務を遂行していく。 ○学校DX化に積極的に取り組み、子どもと向き合う時間の確保を行う。 ○教材教具や文書等は整理して共有し、学校全体として引き継いでいく。 ○業務改善と人材育成の両立を図ることに注力して、校内OJTを推進する。 ○家庭や地域と一体となって行う教育活動を仕組む。
指標	<p><学校アンケート></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「自分の目標をもち、働きがいを感じて仕事をしている」に肯定的な回答をした職員の割合【90%以上】 ◆1か月の時間外勤務が45時間以下、1年間360時間以下の職員の割合【100%】 		